

分野	科目名	配当年次	開講期	
基礎分野	社会学	2年次	後期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1単位 (30時間)	30時間	元大学教授	無	
授業の概要	社会学の基本的概念（個人と社会、社会と文化）を理解することで社会の構造や機能を学び、身近な集団としての家族について理解する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会学上の基礎概念が理解でき、現状分析の道具として、ある程度活用できる。 2. 「医療」の問題を広い視野から考えることができる。 3. 現代の日本社会が抱える諸問題を自分なりに考える素地を形成する。 			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	第1節. 対面的相互行為の構造, 1. 「迷惑」行為の考察	講義	
	2	2. 「相互行為儀礼」の視角, (1) 「表敬行為」の不履行	〃	
	3	(2) 「テリトリー」の侵犯, (3) 適切な「関与」の失敗	〃	
	4	第2節. レイベリングと逸脱行動, 1. 「レイベリング理論」	〃	
	5	2. 精神障害者へのレイベリング, (1) 隔離収容政策の問題	〃	
	6	(2) 精神障害者が社会復帰するための条件	〃	
	7	第3節. 「予測」の意図せざる諸結果, 1. 「自己成就的予言」	〃	
	8	2. 「自己破壊的予言」	〃	
	9	第4節. 準拠集団と相対的剥奪, 1. 所属集団と「準拠集団」	〃	
	10	2. 準拠集団と「相対的剥奪」, 3. 相対的剥奪と現代社会	〃	
	11	第5節. 「少子化」問題, 1. 「合計特殊出生率」の意味	〃	
	12	2. 戦後日本の少子化の3段階, 3. 近年の少子化の原因	〃	
	13	第6節. 家族機能の変容, 1. 家族機能の外注化	〃	
	14	2. 情緒的比重の増大, 3. 家族の個人化	〃	
15	授業のまとめと展望	〃		
評価	レポート：20%、定期試験：80%			
参考文献	参考図書 「ゴフマン世界の再構成」安川一編：世界思想社 「人と人との快適距離」渋谷昌三：日本放送出版会 「社会病理の分析視覚」徳岡秀雄：東京大学出版会 「心病める人たち」石川信義：岩波書店 「考える社会学」小林淳一・木村邦博編著：ミネルヴァ書房			
備考				

